

様式 1 1

指定管理者の評価に係る合議の概要

施設名	箕面市立みのお市民活動センター
指定管理者名	特定非営利活動法人市民活動フォーラムみのお
開催日	令和8年（2026年）1月16日（金）
開催場所	箕面市立みのお市民活動センター 多目的室2
合議の出席者	箕面ホテルを守る会 石田 達郎 氏 エイドミューズ 高平 のどか 氏 ひとつぶのたねCAPぐるーぷ 松本 史恵 氏 一般社団法人とよの権利擁護支援センターとも 吉野 美千代 氏

【概要】別添のとおり

内容

令和8年（2026年）1月16日（金）に箕面市立みのお市民活動センター多目的室2にて、指定管理者にかかる合議を実施いたしました。その中で合議メンバーより以下のような意見がありました。

1) ご意見

- 駅開設の影響も含め、稼働率は前年より向上しているのか。
(指定管理者による説明)
2023年度の稼働率は60.2%、2024年度は65.6%となっており、コロナ禍では約40%まで低下していたが、現在は回復している。時間帯による差があり、午前・午後は利用が多い。
- 予約が取りにくくなっている。
(指定管理者による説明)
利用希望時間帯が集中していることに加え、公平性確保の観点から抽選制度を設けているため、希望どおりの予約が難しい場合がある。なお、夜間は比較的空きがある状況である。
- フレキシブルコーナーが部屋が取れない時の代替として活用されているのではないか。
(指定管理者による説明)
会議室が確保できない場合の打ち合わせ等にフレキシブルコーナーが活用されている実態がある。
- 以前は多目的室を期日前投票で使用していたが、現在はフレキシブルコーナーで実施することにより、定期利用団体の部屋利用を確保できるようになっている。一方で、来館者の増加に伴い、館内通路が混雑する場合がある。
(指定管理者による説明)
昨年度は期日前投票が2回実施され、その際に館内が混雑した。アクセスの良さから投票所としての利用が増加している。選挙の種類や規模によっては会議室等を使用する場合もあり、利用者への影響を最小限に抑えるため、引き続き調整が必要である。
- 公衆電話が減少し、携帯電話を所持していない場合に不便を感じることもある。
(指定管理者による説明)
問い合わせは一定数ある。状況に応じて、指定管理者の電話を一時的に貸すなどの対応を行っているが、社会環境の変化に伴う課題であると認識している。
- 近年、施設が特定団体中心から市民全体へと開かれた場へと変化している。多様な団体の参加が見られるようになったことは評価できる。
(指定管理者による説明)
利用条件自体は大きく変更していないが、活動内容の多様化が進んでいる。
- 利用者の年齢層が上がっている印象があり、現役世代の参加促進が課題である。
(指定管理者による説明)

NPO 等において担い手の高齢化は共通課題である。ボランティア受け入れ等、若い世代の参画促進を目的とした講座も予定しているので活用してほしい。

2) 総評

利用者アンケートの結果、全ての項目で90%以上（回答無しを除く）の利用者が「満足」または「おおむね満足」と回答しており、施設の運営が良好であることがわかる。

指定管理者は、利用者の期待に応える運営を実現しており、この水準を維持しつつ、さらなる改善や課題への対応が期待される。今後も利用者の声を反映し、より充実した施設運営を目指していただきたい。

以上のことから、市として、指定管理者は円滑な管理・運営を行っているとは評価する。